



CGUE Type D.E.E.P. ARMS

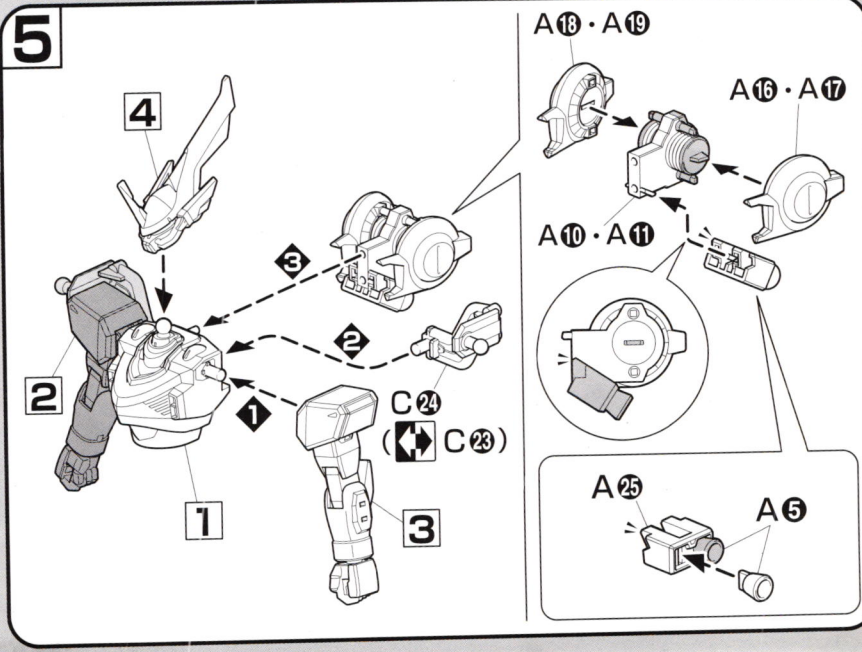
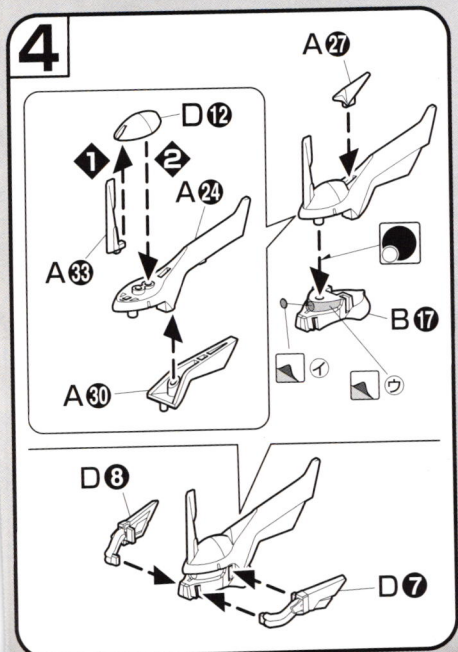
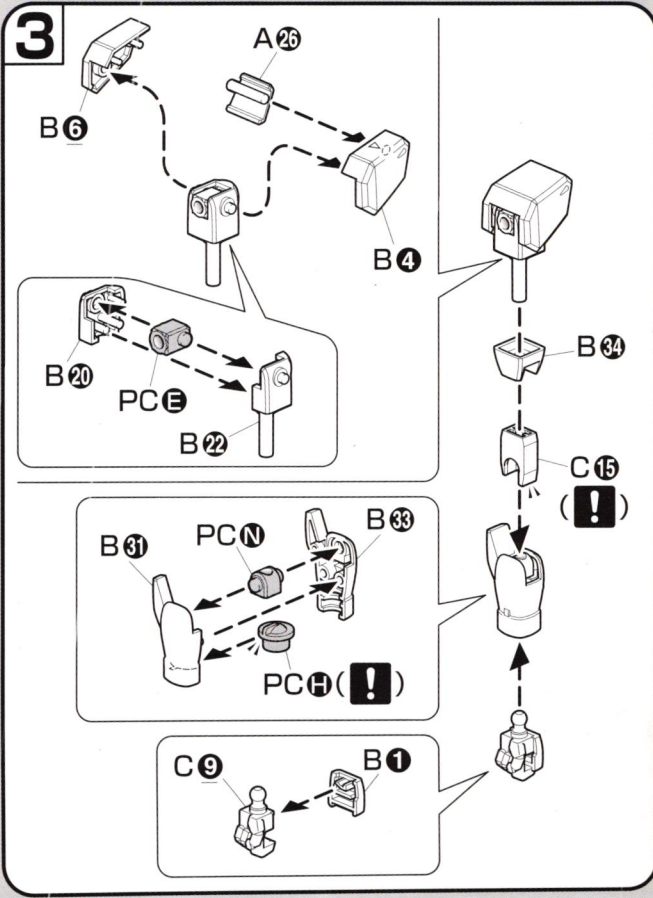
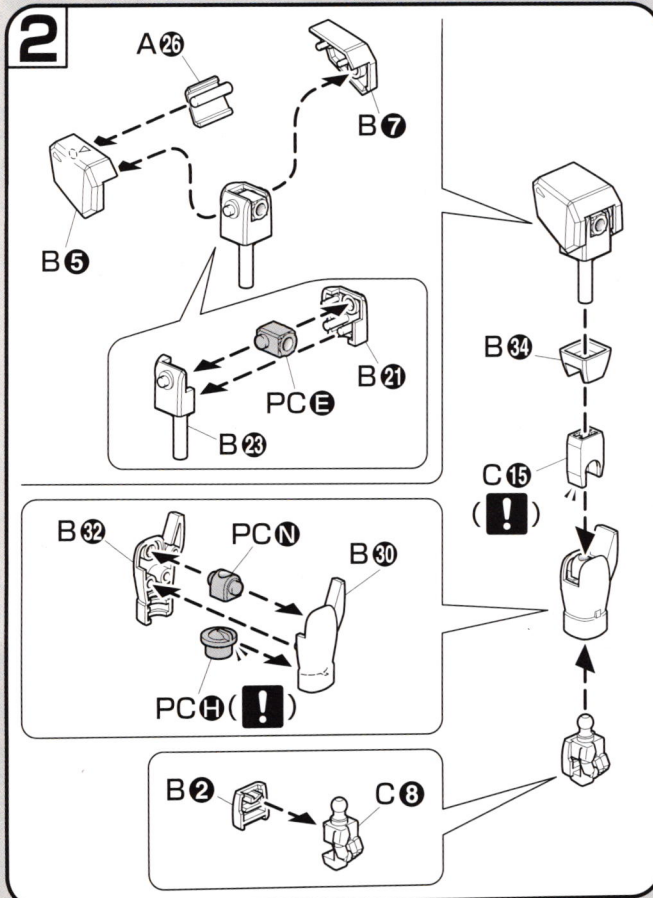
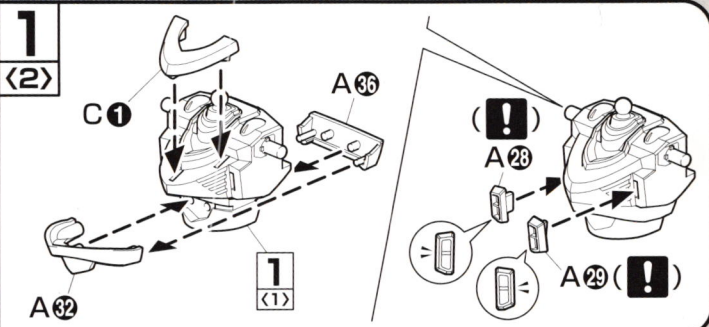
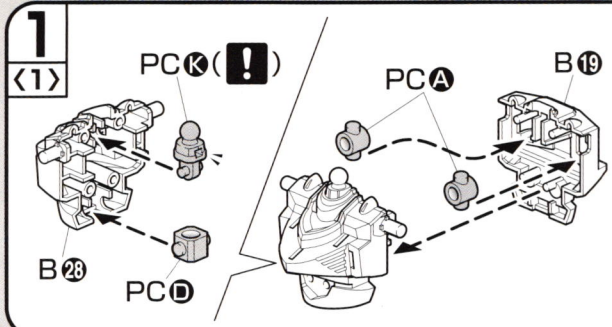
YFX-200 シグーディープアームズ
1/144 SCALE MODEL HG GUNDAM SEED MSV-05

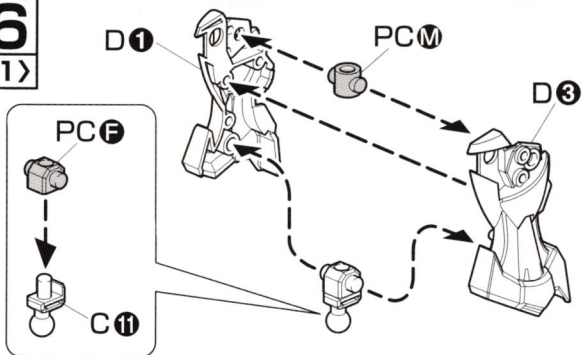


HG
GUNDAM SEED

**BAN
DAI**

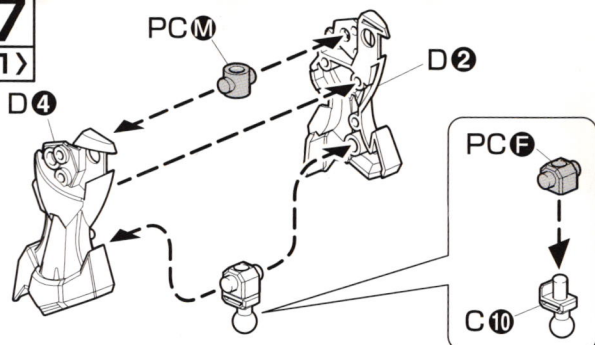
0126802



6**<1>**

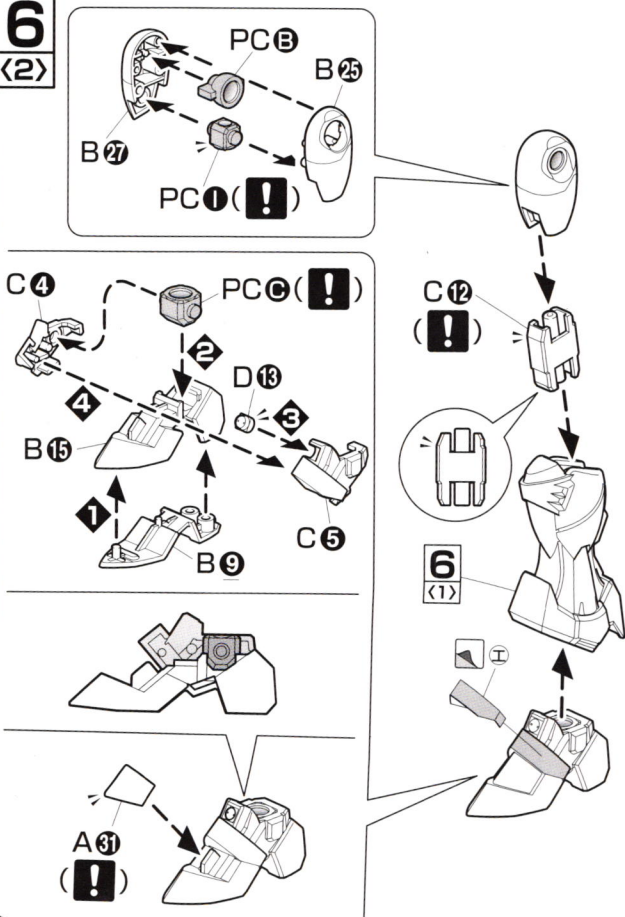
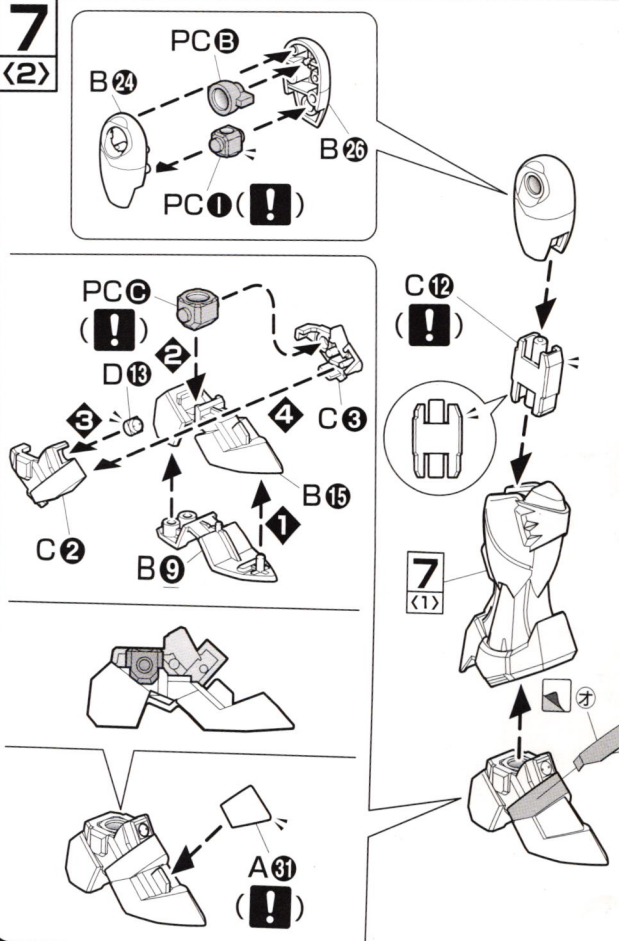
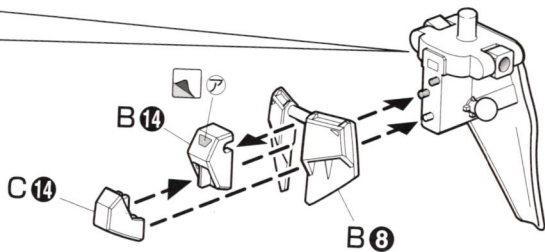
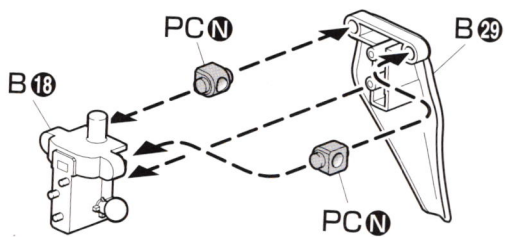
A22

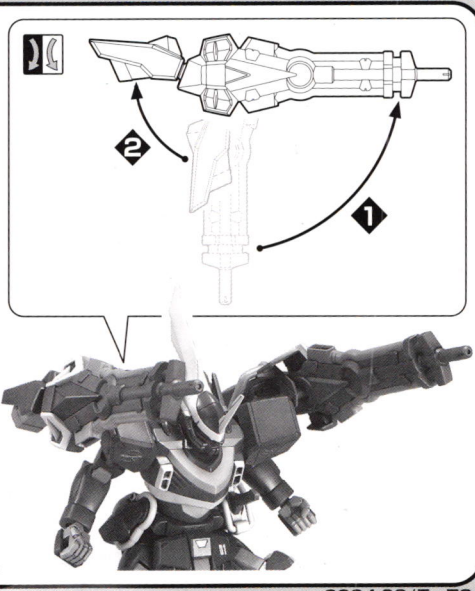
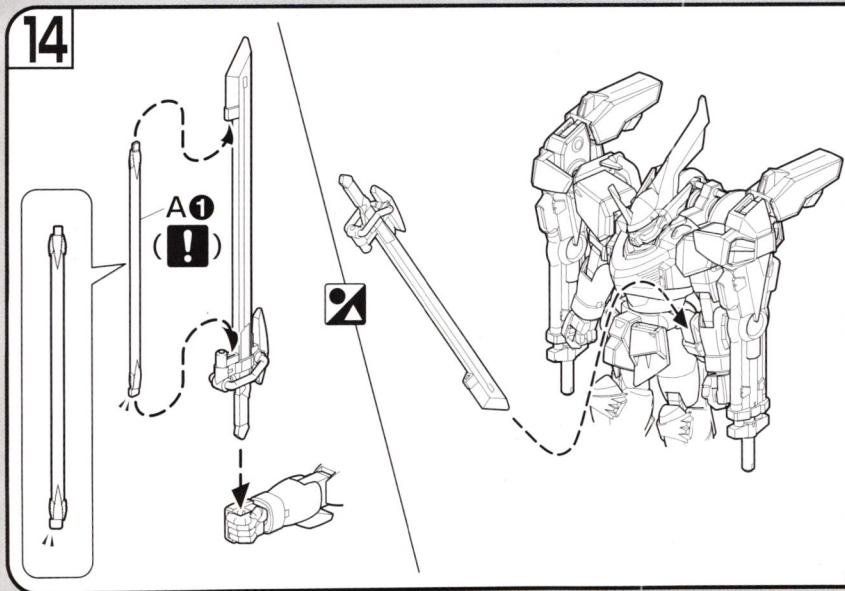
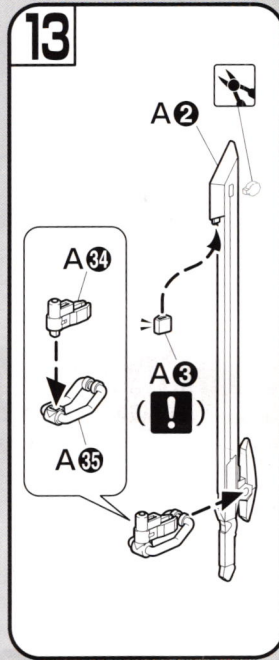
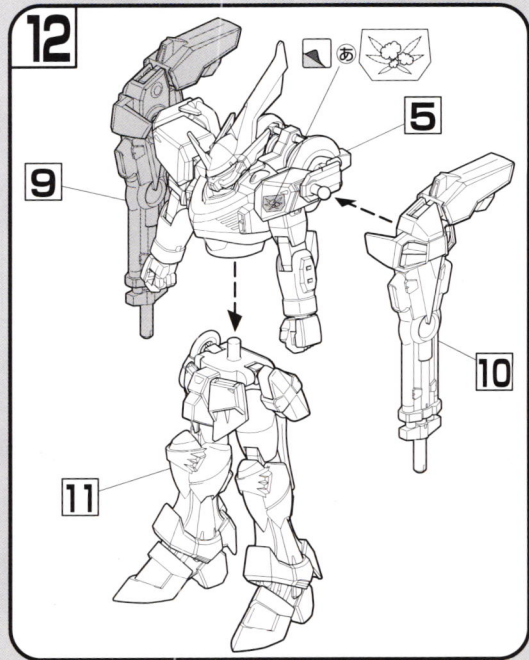
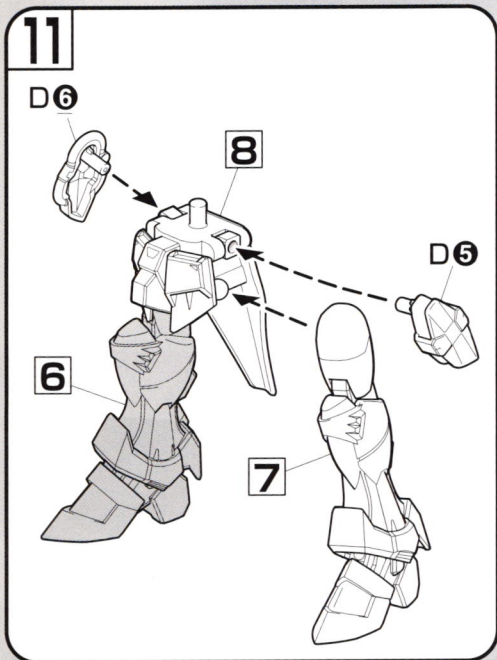
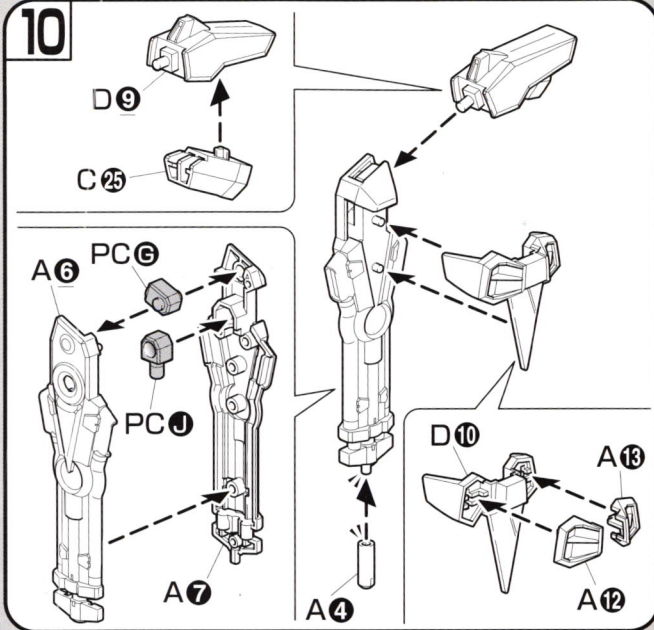
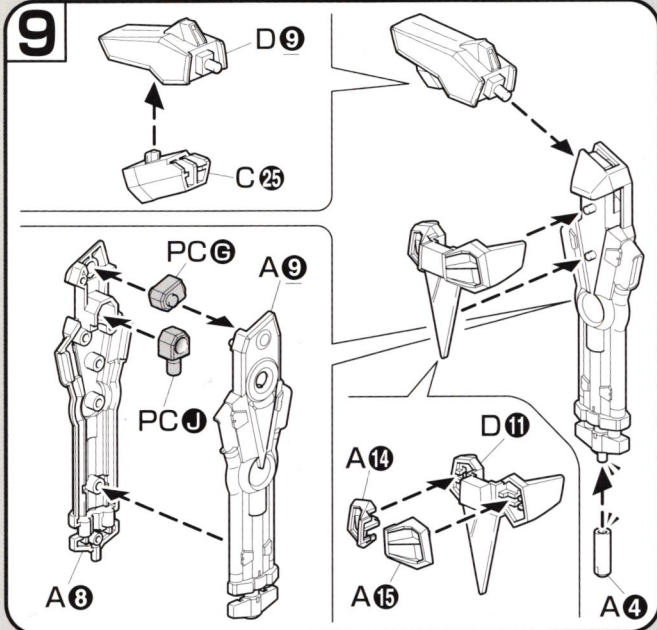
A23

7**<1>**

A20

A21

6**<2>**C12
(!)**6**
(1)**7****<2>**C12
(!)**7**
(1)**8**



CGUE Type D.E.E.P.A.R.M.S



COLOR GUIDE

※よりリアルに仕上げたい方は、下の基本色をご覧ください。
 ※塗装には、より安全な「水性塗料」のご使用をおすすめします。

●このキットを、よりリアルに塗装したい方は、(株)GSIクレオスより発売の、ガンダムカラー「シグタープアームズ」用、その他カラーセットをお使いください。

●本体ブルー部:

■ コバルトブルー (90%)
 ■ +ブルー (10%)

●本体ライトブルー部:

■ ホワイト (60%)
 ■ +コバルトブルー (20%)
 ■ +スカイブルー (20%)

●本体イエロー部:

■ オレンジイエロー (70%)
 ■ +オレンジ (30%)
 ■ +ホワイト (少量)

●武器、関節等グレー部:

■ ホワイト (40%)
 ■ +ニュートラルグレー (30%)
 ■ +ミディアムブルー (30%)
 ■ +レッド (少量)

●武器等グレー部:

■ ネービーブルー (70%)
 ■ +ミディアムブルー (30%)
 ■ +レッド (少量)

※または、ガンダムカラーブルー-11

※または、ガンダムカラーブルー-35

※または、ガンダムカラーグレー-9

WEAPON



MARKING



マーキング マーキングシール[Ⓔ]

写真の位置を参考に貼ってください。
 ※その他のマーキングシールはご自由にお貼りください。



頭部フィン

頭部フィンは、ビーム砲撃の精度向上を目的とした強化型統合センサーを内装するため増設ならびに大型化された。ハイマウントセンサーによってロングボウ化されたことで、掩蔽物の背後からの精密射撃性能も向上している。

レーザー重新刀

NOL-Y941レーザー重新刀は、地球連合から奪い取った技術データを基に、わずか3週間という短期間で開発された。そのため、基本構造は地球連合の対艦刀シュベルトゲベルに酷似したものとなっている。

シグターフアームズ

型式番号：YFX-200

全高：21.55m 重量：81.83t

武装：JDP8-MSY0270

試製指向性熱エネルギー砲×2

NOL-Y941レーザー重新刀



マーク



シホ・ハーネンフースのパーソナルマークは、ホウセンカの花を模したものだ。一般にはその縦横無尽の戦術機動が、あたかもホウセンカの種が飛び散る様を思わせるからだと言われている一方で、実は単にシホが好きな花をデザインしただけだという異説もある。

MECHANISM

バックバック/

背部スラスタ

ビーム砲ユニットの搭載に対応して、背部からはオリジナルのスラスタが撤去され、代わりに新設計のコンポーネント・バックバックが搭載された。このバックには増設パワーユニット、強化冷却システムなどが内装されている。また肩部にも、新たなスラスタが搭載された。

試製指向性熱エネルギー砲

JDP8-MSY0270試製指向性熱エネルギー砲の巨大なユニットの大半は、強力な冷却システムで占められている。ビームユニットの発熱問題は深刻で、発砲のたびに背部から熱を帯びた大量の冷却ガスを大量に噴出するため、ガスの残量が切れると発砲不能となる。



CGUE Type

D.E.E.P.A.R.M.S

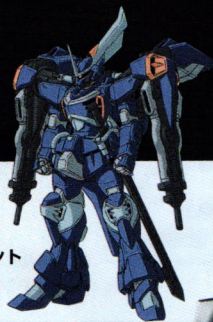
地球対プラントの戦争は急激に兵器を進化させた。その結果、戦場の主役の座は戦艦、戦闘機などの在来兵器からモビルスーツに移り変わった。それと同時に火砲の主役もミサイルや砲弾に代表される実体弾兵器から、指向性を持った高エネルギー放射兵器、いわゆるビーム兵器へと移行していった。いち早くモビルスーツを実用化し開戦当初こそ優位を發揮したものの、ビーム兵器の開発では地球連合の先行を許すこととなったザフトは、総力を挙げてビーム兵器の実用化に取り組んだ。シグーディーブアームズは、その成果として誕生したモビルスーツ搭載可能ビーム兵器の実証テスト機である。ベース機となったシグーに装備された初期型ビームユニットは、動作の信頼性を最優先としたため発振ユニットの全長が10メートルを超えることになった。この巨大なユニットの搭載による負荷の増大に対処するため、本機のパワーユニットおよび冷却系は改良高出力型に換装されている。ビーム砲の性能は開発陣の期待通りで、以後に開発されたビーム兵器はすべてこのユニットを基本に設計されている。なおディーブアームズ(D.E.E.P.A.R.M.S)とは「指向性エネルギー放射兵器試験機」の意味である。



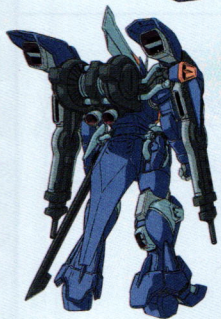
MATERIAL

シホ・ハーネンフース

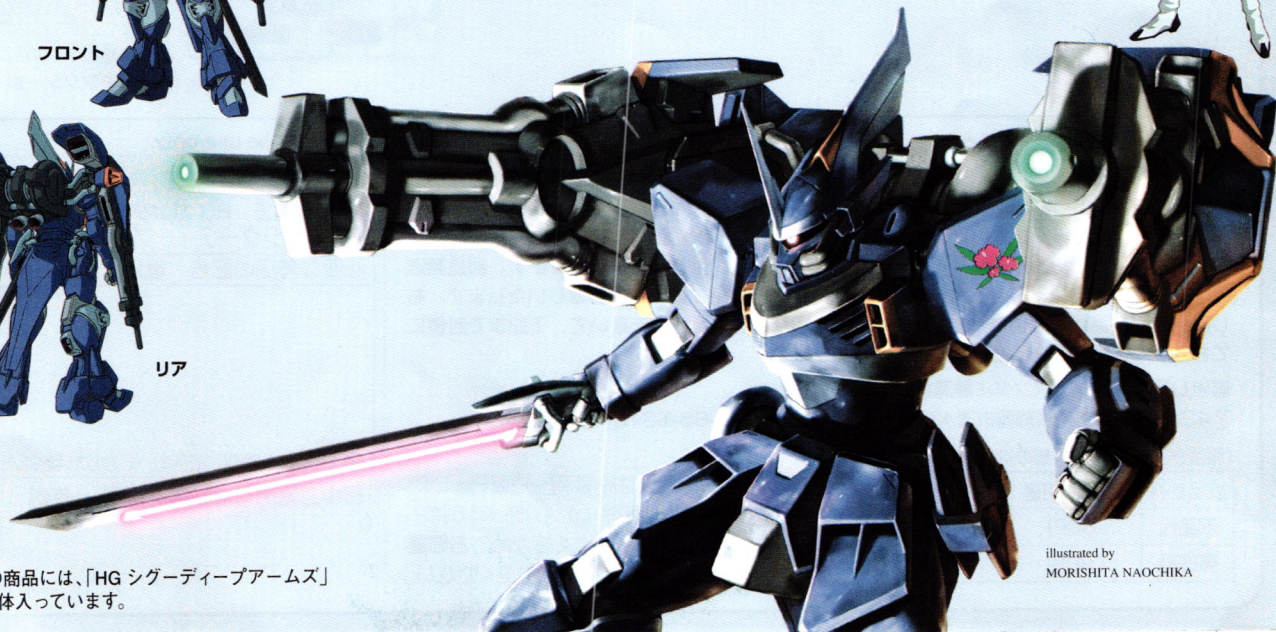
数少ない女性モビルスーツパイロットの一人。軍に志願するまでは指向性高エネルギー発振システムの研究に従事していたため、ディーブアームズのテストパイロットに任命された。開発終了後はイザーク・ジュール隊に配属され、ヤキン・ドゥーエ防衛戦に参戦した。



フロント



リア



※この商品には、「HG シグーディーブアームズ」が1体入っています。

illustrated by
MORISHITA NAOCHIKA